

日本文化を発信しよう

小学校 6年 国語

「鳥獣戯画を読む」

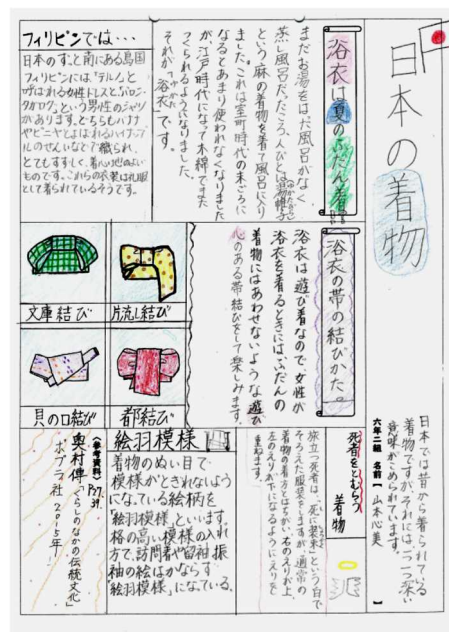
資料の活用(情報)

ねらい

- ウェビングやマンダラチャートを使い、考えを広げたり、調べた内容をまとめたりすることができる。
- 引用、出典について知り、パンフレットに調べた資料を正しく引用したり出典を明記したりすることができる。

学習展開

- ① 「日本文化」にはどのようなものがあるか、ウェビングを使って見つける。
(「和〇〇」「〇〇道」「日本〇〇」)
- ② 自分の考えをまとめるためにマンダラチャートを用いて調べたことを整理するとよいことを伝える。(簡単な例を示す)
- ③ 調べた資料を使って考えを表現するときのルールを伝える。(引用、出典、奥付、著作権)
- ④ 自分の発信したい日本文化を決定し、調べ活動をする。



児童が作ったパンフレット

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は教員と相談して、調べ学習のテーマに合う資料を準備する。
- 司書教諭と担任は学習の進め方、司書教諭が受け持つ役割について話し合う。
- 司書教諭は児童に提示するプレゼンテーション資料、ワークシートの内容を検討し、作成する。
- 司書教諭と担任は司書教諭が作成した資料、ワークシートについて話し合い、検討する。

★指導のポイント

- ◆ ウェビングやマンダラチャートのワークシートの使い方を例を挙げて説明する。
- ◆ 調べ活動をするときには、調べた内容と出典を記録しておくように伝える。
- ◆ 完成した作品は画像として保存する。

資料

「世界とくらべる日本の文化と生活」飯塚峻 監修 ポプラ社/「再発見！くらしのなかの伝統文化（全7巻）」市川寛明 監修 ポプラ社/「子どもに伝えたい和の技術」和の技術を知る会 著 文溪堂/「調べてみよう日本の職人伝統のワザ」学研プラス